

# なめがたでキラリ輝く「ひと」

今年の行方市民運動会では、来年の茨城国体を記念してゲートボール競走が行われた。北浦運動場第1グラウンド



おほら たか  
**大原 孝**さん (78歳)

## Profile

行方市ゲートボール連合会事務局長。市のゲートボールの普及発展に尽力。昨年、行方市体育協会から「スポーツ功労者賞」の表彰を受けた。他にも更生保護女性会や日赤奉仕団など、さまざまな活動を続けている。白浜在住。

ます。

「ゲートボールは団体競技で、いろいろな作戦を考えるために頭を使うので、老化防止に最適なスポーツだと思います。勝ったり負けたりを考えずに元気に遊び、プレイした後はみんな和気あいあいとお茶を飲みながら、世間話をしています。お年寄りが外に出るきっかけにもなるし、誰でも楽しく参加してくれると良いですね」

大原さんは、昭和49年に開催された茨城国体で、麻生町婦人会(当時)の代表として、旗・炬火リレーが通る道沿いに花の球根を植える活動をしました。また、このリレーにも参加し、旗を持って約2キロの区間を走りました。

「一緒に走った仲間たちと会うと、当時の思い出になります。私は今回の茨城国体には審判としてゲートボール競技に参加するので、選手で出場できないのが残念。でも、ボランティア精神で頑張りますよ」と頼もしく話す大原さん。平成24年には、北関東大会で第3位という成績を残し、翌25年に市体育協会から「優秀選手賞」が贈られています。

「地元の白浜チームが、ゲート

ボール人口の減少によって、活動できなくなってしまうのが寂しいかな。ゲートボールを通して、お年寄り子どもが触れ合う3世代交流などできたら楽しいでしょうね。お年寄りと接することで、子どもも心豊かに育つと思います」

ご主人を早くに亡くし、旧麻生町時代から母子寡婦福祉活動にも尽力してきた大原さん。会社員として働きながら、地域の活動を続けてきました。いつでも、周りの人たちから頼りにされています。

「人のご縁が今の自分を作ってくれたと思っています。毎日さまざまな活動ができて、手帳は予定でいっぱい。毎日が充実しています」

明るく元気な大原さん。来年の茨城国体での活躍が期待されます。



昭和49年開催の茨城国体で、旗を持って炬火リレーに参加した大原さん。そのときに着用したシャツと短パンは、現在も大切に保管している。

## スマホでもっと楽しめる！市報なめがた デジタルブック！

▼市報に登場するこのマークに注目！



市報に掲載されていない画像や動画をご覧いただけます。右のQRコードから無料アプリ(カタボケ)でご覧ください。



デジタルブックは10言語に対応



※対応言語：日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、タイ語、ポルトガル語(ブラジル)、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語(※ベトナム語は音声読み上げ機能には対応していません。)

「市報なめがた」は、公共施設等にも配置しています。

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課(麻生庁舎) ☎ 0299-72-0811

スマートフォンをお持ちの方は、こちらから市公式ホームページをご覧ください。

